

平成 22 年 12 月 6 日  
港湾局国際・環境課

第 11 回北東アジア港湾局長会議ならびに  
第 11 回北東アジア港湾シンポジウムの開催結果について

平成 22 年 11 月 19 日(金)～11 月 21 日(日)の間、第 11 回北東アジア港湾局長会議および第 11 回北東アジア港湾シンポジウムが開催されました。

1. 第 11 回北東アジア港湾局長会議

それまでに開催されていた日韓港湾局長会議をベースに、中国が加わり三カ国に拡大して、2000 年に北東アジア港湾局長会議を設置し、今回が 11 回目となる。日韓中三カ国の港湾担当部局の局長が、港湾行政全般にわたり広範に意見交換を行うとともに、併せて、三カ国の港湾関係者が参加するシンポジウムを開催することにより交流の増進を図り、三カ国の港湾の発展をめざしている。開催は各国持ち回りとしており、今回は韓国済州島で開催された。

今年度は、北東アジア地域における港湾間の緊密な連携に関して各国からプレゼンテーションが行われた。また、2つの共同研究テーマ「持続可能な発展のための港湾グリーン戦略：排出ガスの削減とエネルギー効率の向上」と「北東アジア地域における地球温暖化を考慮した沿岸防災策」について、1年目の進捗について報告があった。なお、2012年に開催される予定の第4回日中韓物流大臣会合への報告について、協議委員会を設置し、今回の局長会議の議論をベースに報告書を準備することとなった。当該報告書では政策テーマについて、各国が協力して取り組む旨、記述していく方向となった。

2. 第 11 回北東アジア港湾シンポジウム

日中韓の港湾関係者約 150 名が集まり、3ヶ国の現状と課題について、将来の方向性を探るため、「北東アジア地域における将来的な物流戦略」「環境対策による成長 (Green Growth) に関する港湾における将来展望」について発表された。

【問い合わせ先】国土交通省港湾局国際・環境課国際企画室 有本、飯塚  
(代表)03-5253-8111 (直通)03-5253-8679 (内線)46553、46554

第11回北東アジア港湾局長会議  
(11月19日(金) 韓国・済州島、新羅ホテル)

出席者

- 日本（国土交通省港湾局長 林田 博氏をはじめ7名）
- 中国（交通運輸部水運司副司長 智 廣路氏をはじめ5名）
- 韓国（国土交通海洋部港湾政策官 姜 範九氏をはじめ12名）

主要議事

(ア) 日韓中の3国間での情報交換

テーマ：北東アジア地域における港湾間の緊密な連携

発表者：日本) 国土交通省港湾局長 林田 博氏

中国) 交通運輸部水運司副司長 智 廣路氏

韓国) 国土交通海洋部港湾政策官 姜 範九氏

(イ) 共同研究(WG) 1年目の進捗状況報告

WG1：「持続可能な発展のための港湾グリーン戦略：排出ガスの削減とエネルギー効率の向上」

WG2：「北東アジア地域における地球温暖化を考慮した沿岸防災策」

今後の予定

来年、第12回北東アジア港湾局長会議を中国で、課長級会議を日本で開催予定。

第 11 回北東アジア港湾シンポジウム  
(11 月 20 日 (土) 韓国・済州島、新羅ホテル)

主催 韓国 国土海洋部

参加者 総計約 150 名 (日本側 約 40 名、中国側 約 30 名、韓国側 約 80 名)

プレゼンテーション

○第 1 部「北東アジア地域における将来的な物流戦略」

- ・韓国 海洋水産開発院 研究委員 金 範中 (Kim, Beom-Jun) 氏
- ・中国 交通運輸部水運科学研究院 交通水運開発研究センター  
副研究員 紀 永波氏
- ・日本 神戸大学 教授 竹林 幹雄氏

○特別報告

- ・第 27 回 IAPH 総会 (韓国・釜山) 紹介  
釜山港湾公社 副社長 Hwang, Sung-Gou 氏

○第 2 部「環境対策による成長 (Green Growth) に関する港湾における将来展望」

- ・韓国 韓国海洋大学 教授 KIM, Hwan-Seong 氏
- ・日本 関西経済連合会 常務理事 櫻内 亮久氏
- ・中国 青島港 (集団) 有限公司 会長 常德伝氏



**第11回北東アジア港湾局長会議**  
(右から、日本：林田港湾局長、韓国：姜港湾政策官、中国：智水運司副司長)



**第11回北東アジア港湾シンポジウム**  
(林田港湾局長挨拶)